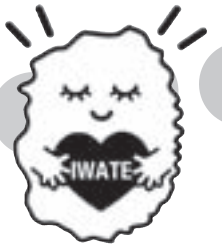


岩手ホスピスの会通信



岩手ホスピスの会（代表：川守田裕司 事務局長：吉島美樹子）

会 員 数／365 名（2016.3.17 現在）

編 集 発 行／「岩手ホスピスの会」事務局 〒020-0883 岩手県盛岡市志家町 13-31 川守田方

TEL：090-2604-7918 FAX：019-653-6447

郵便振替口座／02250-1-60580 E-mail／hospice@eins.rnac.ne.jp

Homepage（岩手ホスピスの会通信）／<http://hospice.sakura.ne.jp/>

No. 54
2016 年 4 月

岩手ホスピスの会 2015 年度総会開催

岩手ホスピスの会 2015 年度総会は 2 月 20 日開催され、新年度の事業計画として

①がん患者とその家族を様々な角度からサポートする

※脱毛に悩む患者さんのためにタオル帽子活動

※患者さんを支援するイベント開催（がん患者さんのための栄養講座、お茶っこ会栄養療養相談等）

※がんなんでも電話相談「がん相談ホットライン」活動

②全国関連団体への積極的活動協力を行い相互の情報交換を深め、岩手と日本のがん医療・緩和ケアの推進をはかる。

③設置された各ホスピスへの見守りとボランティア協力

※一般の方への岩手県内ホスピスの啓蒙のため、ホスピスセミナー開催

※岩手県内各ホスピスの定期的な現状調査

―等が提案・承認され、新年度役員が以下の通り選出されました。



2015 年度総会（2 月 20 日、河南公民館にて）

《新年度役員》

代表：川守田裕司 副代表：伊藤ヨシ子 事務局長：吉島美樹子
幹事：佐々木順子、浅田京子、佐々木弥生、蛇口真理子、佐々木昌子
会計：池乗育代、細川恵美子 監査：菊地克昌、佐々木美穂子

岩手県内では現在ホスピスが、盛岡市 3 ヶ所、県中央部（北上市）に 1 ヶ所、県南部（一関市、奥州市）に 2 ヶ所の計 6 ヶ所に設置されました。更に沿岸部や県北部にもホスピスが開設され一人でも多くの方が充実した緩和ケアを受けられることが私たちの願いです。

様々な情報が溢れる中、一方で情報を受け取りたくても受け取る術を持たない方々が多数おられます。そのような方々に、がんという病についての様々な情報をどう届けることができるかがこれからの大きな課題であると思います。

また、5 年前起こった大震災からの一日も早い復興を目指す被災地の方々への支援も、新年度もささやかながら継続して行きます。超高齢社会を迎え、終の棲家としてのホスピスのニーズは今後増々高まっていくと思われます。患者さんにご家族の立場に立ちながら、皆様の声が少しでも社会に届くことを願って活動してまいりたいと思います。

総会記念講演会開催

(2月20日、河南公民館にて)

「事前指示書 HOTARU による意思決定支援の提案」 講師：岩手県立二戸病院副院長・高橋浩先生

終末期に意思を自分で表明できなくなり、本人の意思が分からず、医療者がどの時点で延命治療を止めるのか判断できないケースが近年増加しており、深刻な問題となっています。

意思表示が困難な患者さんに胃ろう造設を行い、意識レベル低下（調子が良いときには呼名で開眼する程度）のまま10数年も入退院を繰り返す、というケースも。

そのため高橋浩先生をはじめとする二戸地域のカシオペア地域医療福祉連携協議会が、胃ろうや人工栄養の導入など終末期医療に関する患者の希望を記す事前指示書を開発し、元気なうちに家族で「最期の時」を話し合ってもらう取り組みが始まっています。

開発した事前指示書「HOTARU」はA5判8ページの冊子で、公的予算で7千部印刷後、二戸市役所、支所、二戸保健所管内の薬局等に設置される予定です。

この「HOTARU」の試みが県内各地域に広がり、患者さんやご家族が延命治療を選択する際の一助となることを、ホスピスの会として切に願っております。
(次ページ新聞記事参照)



二戸病院副院長 高橋浩先生

冊子「HOTARU- 最期まであなたらしく生き抜くために」より内容抜粋

もし、あなたが病気のために回復が見込めず、自分の意思が伝えられない状況だとしたら、どのようにしてほしいでしょう

2 延命処置について

心臓マッサージなどの心肺蘇生

希望する ・ 希望しない ・ 今はわからない

胃瘻による栄養補給

希望する ・ 希望しない ・ 今はわからない

中心静脈栄養

希望する ・ 希望しない ・ 今はわからない

延命のための気管挿管、人工呼吸器の装着

希望する ・ 希望しない ・ 今はわからない

経鼻経管栄養

希望する ・ 希望しない ・ 今はわからない

末梢静脈栄養（点滴）

希望する ・ 希望しない ・ 今はわからない

3 痛みなどの辛さについて

- ・ できるだけ痛みや辛さを取り除いてほしい・痛みや辛さが取り除けないならば眠らせてほしい
- ・ 多少痛みや辛さがあっても自分の意思は伝えたい（眠くなることは望まない）

4 希望する療養の場所について

自宅 ・ 施設 ・ 病院 ・ その他（ ）

5 記載した内容についてどのようにしたいでしょう

- ・ 自分の心に留めておきたい ・ 家族に見せて共有したい
- ・ かかりつけ医にも見せてカルテに記載してもらいたい



冊子「HOTARU」

事前指示書で自分の意思

終末期医療 県北の取り組み学ぶ

岩手ホスピスの会



事前指示書「HOTARU」について講演する
県立二戸病院の高橋浩二院長

命の終わりが近づいて、どんな医療を選択するか。高齢者自身が元気なうちに、自分の意思を記録できる事前指示書「HOTARU」について、盛岡市松尾町の市河南公民館で開かれた。岩手ホスピスの会（川守田裕司代表）の主催。県立二戸病院副院長・地域医療福祉推進室長の高橋浩二氏が講演した。約50人が耳を傾けた。

HOTARUは、県立二戸病院が事務局となり、二戸市、一戸町、軽米町の福祉、介護、医療関係者で組織する「カシオペア地域医療福祉推進研究会」が作成した。例えば、病名の告知について▽告知を受け、余命まで知らせてほしい▽病名は教えては知らせない▽では知らない病名についてはいらない（告知は受けたくない）―の3つの意思を表示する。おけば、自身が望む最善の治療を受ける手助けになる。

倫理的に問題がある場合や家族に許容範囲を超えた負担が及ぶ場合など、必ずしも記載通りに行くとはいえない。ただ、本人の意思を尊重し、本人に代わって家族が治療方針を決めなければならぬ場面でも、それをヒントに決断すれば、後悔する可能性が低くなるという。

高橋副院長は「本人の気持ちと分らない状態でも、終末期医療について、どんな選択をしたとしても家族は悩むもの。事前指示書は、事前指示書について抵抗なく話ができる環境づくりこそ大事」と話す。

川守田代表は「終末期の医療を考える上で重要な取り組みだと思える。他の地域にも広がってほしい」と期待し、最期を迎えたいかなった。

い。ただ、家族や医療者ら、終末期の医療方針を検討する上で、貴重な資料となるのは確かだ。

HOTARUの作成に取り組んだ背景には、周囲や家族への遠慮から、自己表現を控える高齢者が多く、また医療者に対して自分の意見をはっきり言えないといった地域事情もあった。手始めに、カシオペア連邦地帯内にある病院や薬局などの目の留まりやすい場所に設置し、終末期医療について話し合うきっかけにしよう。

なぜ、延命治療を希望するの（しないの）か、自分は、どこで最期を迎えたいか―など、その理由まで話し、身近な人たちの間で記憶にとめておければ理想的。本人に代わって家族が治療方針を決めなければならぬ場面でも、それをヒントに決断すれば、後悔する可能性が低くなるという。

盛岡タイムス
2016年3月1日掲載

抗がん剤治療を行う患者さんのための タオル帽子作り講習会開催

3月4日（金）、東京都千代田区九段のMSD株式会社において、同社の社員ボランティアプログラムとして「抗がん剤治療を行う患者さんのためのタオル帽子作り」が開催され、男性2名を含む20名が参加しました。

当会からは作成講師として3名のボランティアさんが参加し、丁寧な指導により参加した皆さんが素敵な帽子を作りあげ、出来上がった帽子は全て当会に寄付されました。

この取り組みは昨年9月にも同社で開催され、その際も当会が作成講師として同社に招かれています。

MSD株式会社は医療用医薬品、医療機器の開発・輸入・製造・販売を行っており、同社によるCS（顧客満足）活動の一環として、患者さんの役に立つような活動をしたいという主旨で、今回が2回目の企画開催となりました。同社では今後さらにタオル帽子作成配布活動に協力する方向で検討が進められています。



抗がん剤治療を行う患者さんのためのタオル帽子作り

岩手県内各ホスピス現況（2016年4月現在）

（岩手ホスピスの会調べ 詳細は各病院に直接お問合せ下さい） 7ページにもご案内を掲載

	孝仁病院 緩和ケア病棟	盛岡赤十字病院 緩和ケア病棟	岩手県立磐井病院 緩和ケア病棟	岩手県立中部病院 緩和ケア病棟	美山病院 緩和ケア病棟
住 所	盛岡市中太田泉田 28	盛岡市三本柳 6 地割 1 番地 1	一関市狐禅寺字大平 17 番地	北上市村崎野 17 地割 10 番地	奥州市水沢区羽田町 字水無沢 495-2
電 話	019-656-2888 医療福祉相談室	019-637-3111 (代表) 緩和ケア相談室 内線 338 川村・阿部	0191-23-3452	0197-71-1511	0197-24-2141
病 床 数	10 床	22 床（全室個室）	24 床 （個室 20、2 床室 2）	24 床 （個室 18、2 床室 3）	20 床（全室個室）
ベ ッ ド	無料個室 8 床 有料個室 2 床	無料 12 床 有料 10 床	無料 17 床 有料 7 床	無料 14 床 有料 10 床	無料 20 床
有 料 室 料 金	1 日 3,150 円	1 日 5,400 円・ 10,800 円	1 日 3,130～ 6,370 円	1 日 3,150～ 12,810 円	無料
看 護 師 数	15 名	18 名	17 名	17 名 + 補助 2 名	17 名 + ケースワーカー 1 名 + 看護補助者 5 名
ホスピス医	臼木豊先生、 米山幸宏先生	畠山元先生、 旭博史先生	平野拓司先生	関根義人先生、星野彰 先生、平賀一陽先生、 佐々木光晴先生	菊池俊弘先生、 及川司先生
看 護 師 長	藤原久美子さん	藤根美知子さん	和泉美奈子さん	菊池恵美子さん	小林洋子さん
入 院 審 査 を 受 け る に は	医療福祉相談室にご 相談ください。 月～土曜 8:30～ 17:15(担当 及川)	緩和ケア外来を受診	0191-23-3452 (入院相談等) がん相談支援センター 相談時間: 平日 9:00～ 16:00	0197-71-1511 (入院相談他) がん相談支援室 相談時間: 平日 9:00～ 16:00	入院相談(担当: ケー スワーカー) 後面談 入院検討会(医師、 薬剤師、栄養士、看護 師、理学療法士で構成)
審 査 日	随時	随時	随時	随時(入院依頼があっ たその日に即日対応)	随時(その後ベッド が空くまで待機)
ホスピス入院 平均待機者人数	院内 6 名 院外 1 名	0	0	3～4 名	0
ホスピス入院 平均待機期間	約 1～2 週間 (時期により変動あり) 重症者優先	外来受診後、 平均 6 日	1～2 日	待機期間は同院一般 病棟や近隣の病院、 連携のとれている訪 問診療で対応	0
利 用 者 内 訳	盛岡市周辺がほとん ど (8 割以上)	盛岡市周辺の方がほ とんど	一関市周辺や宮城県 北の方がほとんど	花巻北上周辺の方が 8 割以上。その他は 水沢、盛岡南部等	奥州市周辺の方がほ とんど
緩和ケア外来	診察日: 月～水・金・土 8:30～ 17:15 木 8:30～ 12:30 担当医: 臼木豊先生・ 米山幸宏先生	診察日: 月・火・水、要予約 担当医: 畠山元先生・ 旭博史先生	診察日: 月～金、要予約 担当医: 平野拓司先生	診察日: 月・金の午前、 要予約 担当医: 星野彰先生	診察日: 水 担当医: 菊池俊弘先生
ホスピスボラ ンティアの 人 数 と 活 動	登録者 24 名 実働 7～8 名 ホスピスボランティア 募集中 019-656-2888 4 階病棟藤原まで 都合のよい時間でよ いのでぜひ!	病院ボランティア 登録者 17 名。うち 10 名がホスピスで 活動中。 病院ボランティア募 集中	ボランティアコー ディネーター 2 名、 ボランティア 12 名 活動: ティータイム、 季節の行事、がん患 者サロン(こころば)	H23 年 6 月～ボラ ンティア活動開始 40 名登録 定期的に研修を行っ ている	現在登録者 5 名で 活動中。ホスピスボ ランティアを随時募 集中
遺 族 会 の 名 称 と 連 絡 先	ひだまりの会 年 1 回開催 院外の方も参加可能 連絡先: 及川、藤原	ハナミズキの会 H27 年 12 月 5 日に 第 1 回を開催。 今後、年 1 回開催予 定	偲ぶ会 年 1 回程度開催予定	偲ぶ会 緩和ケア病棟 (0197-71-1511) 当院緩和ケア病棟で お亡くなりになった 方のご遺族の方のみ これまでに 6 回開催	しちせき 七夕の会 緩和ケア病棟 (0197-24-2141) 当院緩和ケア病棟で お亡くなりになった 方のご遺族の方のみ これまでに 4 回開催
入 院 料			医療保険適応		一般病棟と同じ

岩手ホスピスの会とタオル帽子ボランティアへの メッセージ (2016年1月～3月)

当会のタオル帽子を受け取った全国の皆さんから当会に寄せられたメッセージの一部をご紹介します。2008年6月からスタートしたタオル帽子発送はこれまでに70,830個に上っています。帽子を作るボランティアの皆さんに深く感謝申し上げます。



*がん治療を続けて3年になります。先日より抗がん剤投与となり2週間後に頭髮全て脱毛してしまい気が滅入っておりましたところ、治療を続けている愛媛県立中央病院の看護師さんからタオル帽子を渡され、驚くと共に温かい気持ちに思わず涙が出そうになりました。既製品にはないフィット感、何よりも作られた方のぬくもりを感じ愛用させていただいております。厚く厚く御礼申し上げます。(愛媛県)



MSD 株式会社 主催 タオル帽子作り講習会 (2016.3.4)

*突然大量に髪が抜け始めましたが、あわてずにすぐに頂いたタオル帽子を使わせていただきました。つけた時は気がつかないのですが、脱いだ時に頭皮がピリピリと痛くてびっくりしました。タオル帽子が守ってくれていたんだなあと、しみじみ実感しました。ありがとうございました。(岩手県)

*帽子ありがとうございました。手触りの良いタオル地でとても気持ちが良いと母が言って喜んでいました。少しサイズが大きかったので、縫いつめさせていただきました。丁寧に作ってあり、優しい心遣いを感じました。私はミシンを使おうと考えていましたが、ひと針ひと針心を込めて縫うことが母のためになる様な気がしてきました。(愛知県)

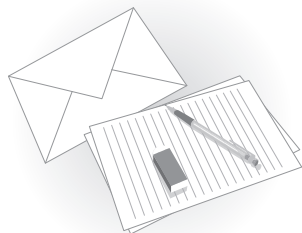
*帽子の型紙とサンプル頂きました。これを手本にして作って、アメリカのホスピスの方々に使ってもらいたいと思っています。本当にありがとうございました。(カリフォルニア、USA)

フェイスタオルご寄付のお願い

皆様にお願ひ申し上げます。ボランティアさんがタオル帽子を作るためのフェイスタオルが不足しております。できましたらご寄付のご協力をお願いいたします。どのようなものでも構いません。ご家庭で眠っているタオルがありましたらぜひお送りください。

〈送付先〉〒020-0883 岩手県盛岡市志家町 13-31
岩手ホスピスの会宛





「町全体をホスピスに!!」

広島県忠海地区の取り組み

当会と10年来の交流がある広島・ホスピスケアをすすめる会竹原支部の代表・大石睦子さんよりこのほど当会にお便りが届きました。

高齢化率が40%を超える広島県竹原市忠海地区に初めて訪問看護ステーションが開設される運びとなり、「町全体をホスピスに!!」を合言葉に、皆が安心して我が家で人生を全うすることが出来る町づくりの取り組みが始まっています。

この7月開設予定の同訪問看護ステーションでは、同地区において自宅で生活している方々のお家を訪問し、療養上のお世話から点滴などの医療的ケア、心のケアなど、患者さんと家族が24時間安心して生活できるようにサポートを行います。

忠海地区の取組の詳細は以下のホームページをご覧ください。



亡くなる1時間前、奥様と記念撮影

広島ホスピスケアを進める会竹原支部：〒729-2316 竹原市忠海中町2丁目5-3
TEL/FAX 0846-26-3788 <https://readyfor.jp/projects/mynurse-usagi>

書籍紹介

「おひとりさまの最期」

上野 千鶴子

ベストセラー『おひとりさまの老後』から8年。その後、おひとりさまは増える一方です。著者も親しかった友人の死を身近に経験して、「そうか、死は遠くにあるんじゃない、隣にあるんだ」…という気持ちになりました。

そして「次はいよいよ私の番だ!」。ではおひとりさまの私はどのように住み慣れた家での「在宅死」ができるのか? ひとりで死んでも「孤独死」とは呼ばれたくない。

……当事者の切実な問いをたずさえて、医療・介護・看護の現場で疑問をなげかけながら、体当たりの取材を積み重ねました。死の臨床の常識は変わり、従来の介護を支える家族は、どうも当てにならないことが実態のようです。本書は「在宅ひとり死」を可能にする現実的な必要条件を多方面に取材し、研究した超高齢社会の必読書です。

「在宅ひとり死」のおススメの本です。(AMAZON 書籍紹介より)



※単行本：280ページ ○出版社：朝日新聞出版 ○発行日：2015年11月6日 ○定価：1,512円(税込)

岩手県内各ホスピス現況 (2016 年 3 月現在)

盛岡友愛病院緩和ケア病棟

4 ページにもご案内を掲載

住所／岩手県盛岡市永井 12-10
 電話／019-638-2222 病床数／18 床
 ベッド／個室 10 床のうち 9 床が有料 4 床室無料
 有料室料金／1 日 5,400 円
 看護師数／11 名 + 補助 3 名
 ホスピス医／藤井祐次先生
 看護師長／高橋美穂子さん
 入院審査を受けるには／医療相談室まで。
 TEL：019-638-2222（代表）
 月～金曜：9：00～17：00
 土曜：9：00～12：30
 審査日／週 2 回を予定
 ホスピス入院平均待機者数／4～5 名

ホスピス入院平均待機期間／1～3 週間
 利用者内訳／盛岡市周辺の方がほとんど
 緩和ケア外来／開設未定
 ホスピスボランティアの人数と活動／稼働検討中
 遺族会の名称と連絡先／設置未定
 入院料／
 各種医療
 保険適用、
 医療費の
 他に食事
 代別途徴
 収



盛岡友愛病院新西病棟

タオル帽子を作りたい方へ

※タオル帽子を作りたい方へ型紙をお譲りしています。

※申し込み方法：はがきかメールでお願いします。

メールアドレス：hospice@eins.rnac.ne.jp

はがき：031-0823 青森県八戸市湊高台 6-4-22 吉島方「岩手ホスピスの会」

これからのタオル帽子講習会・サロン日程

5 月 14 日：タオル帽子講習会・サロン 6 月 11 日：タオル帽子講習会・サロン

7 月 9 日：タオル帽子講習会・サロン 場所：盛岡市総合福祉センター

開催時間：午後 1 時 30 分から 問い合わせ先：080-1658-1762

※型紙のコピーはご遠慮願います。型紙の必要な方は当会へお問い合わせください。

「岩手ホスピスの会」がん相談ホットライン



開設日	毎月第 2 土曜日 午後 1 時 30 分～4 時 (月により変更あり) 相談無料
場 所	盛岡市若園町総合福祉センター内 タオル帽子サロン会場 (月により変更あり)
内 容	電話相談：がん全般についての相談に対応致します。 直接面談：上記会場に来院して頂き対応 ※事前にお電話いただければ、相談内容に合ったスタッフが対応致します。
問合せ	岩手ホスピスの会 090-2604-7918

春の栄養講座

(がん患者さんのための栄養講座番外編)

岩手ホスピスの会 吉島美樹子

春なので！花粉症対策レシピ～

花粉症はアレルギーの一種ですが、原因としては環境の変化が一番ですが、ストレス、加工食品や高脂肪食の取りすぎとも言われています。

鼻みず、くしゃみ、頭痛…。つらい症状を食事だけで治療することは難しいとされますが食事を工夫することで、つらい症状を緩和することは可能かもしれません。

症状を和らげる食材はあるのかな？

- ・レンコン …………… 軟膜を保護するムチン、抗炎症作用のタンニン
- ・青魚(サバ、あじ、いわし、さんま)
…………… エイコサペンタエン酸(EPA)、ドコサヘキサエン酸(DHA) が免疫力の働きを正常にする。
- ・ヨーグルト・キムチ …… 腸内細菌を整えてくれる乳酸菌
- ・納豆 …………… 腸内のビフィズス菌を増やし目、鼻、喉などの粘膜に効果的です。
- ・新玉ねぎ …………… 炎症をおさえ、鎮痛作用によって痛みをやわらげてくれます。



豆腐ハンバーグ

症状を緩和してくれる食材をしっかり摂って、つらい花粉症の時期を乗り越えましょう！

おすすめレシピ サバ缶豆腐ハンバーグ

1人前エネルギー 190 kcal

材料(1人分)	分量
さば水煮缶	50g
豆腐	50g
玉ねぎ・人参・れんこん (アク抜きする)・片栗粉	各 5g
醤油	小さじ 1/4 (1.5 g)

作り方

- ① 豆腐は水切りする。野菜はみじん切りにし耐熱容器に入れラップをし電子レンジで2分間加熱し粗熱をとり水気をきる。
- ② ボウルに①すべてを入れ片栗粉、醤油を入れ混ぜる。好みの形にして整える。
- ③ 油を熱したフライパンに②を入れ、焼き色がついたら裏返し弱火で3分焼き出来上がり。

コメント

ボリューム満点でヘルシー。材料はすべて過熱しているので焼き色がつく程度でOK。調理時間も短く手軽に出来上がります。お好みで大根おろしやポン酢も好評です。

***** 岩手ホスピスの会活動日誌 *****

2016 年 1 月～ 3 月

- 1 月 9 日 通信 53 号発送作業～第 1 回役員会～タオル帽子サロン・講習会
… (盛岡市総合福祉センター、20 名)
- 1 月 14 日 岩手県二戸地域のカシオペア地域医療福祉連携研究会世話人会参加
…………… (岩手県立二戸病院、1 名)
- 1 月 30 日 第 2 回役員会
… (盛岡市総合福祉センター、8 名)
- 2 月 13 日 タオル帽子サロン・講習会
… (盛岡市総合福祉センター、21 名)
- 2 月 20 日 岩手ホスピスの会平成 27 年度総会～記念講演会…………… (盛岡劇場・河南公民館、50 名)
- 2 月 21 日 タオル帽子倉庫作業 …………… (盛岡市タオル帽子倉庫、5 名)
- 3 月 4 日 MSD 株式会社主催タオル帽子講習会 …………… (東京都・MSD 株式会社、4 名)
- 3 月 12 日 第 3 回役員会～タオル帽子サロン・講習会 …………… (盛岡市総合福祉センター、24 名)
～東日本大震災復興祈念イベント「高田に輝の花を咲かせよう」参加
…………… (陸前高田市川原地区、2 名)
- 3 月 20 日 タオル帽子倉庫作業 …………… (盛岡市タオル帽子倉庫、6 名)
- 3 月 26 日 タオル帽子倉庫作業 …………… (盛岡市タオル帽子倉庫、8 名)



MSD 株式会社 主催 タオル帽子作り講習会 (2016.3.4)

ホスピス(緩和ケア病棟)入院料について

時々お問い合わせをいただくホスピス(緩和ケア病棟)の入院料は以下の通りです。

◎入院料のみで考えると、医療費の自己負担割合により 1 割負担の方で一日のホスピス入院料が 5,000 円位、3 割負担の方で一日のホスピス入院料が多くて 15,000 円位となり、この他に高額療養費制度の適用となります。

これらとは別に食費、有料ベッドの場合は有料ベッド代、パジャマ代、おむつ代等がかかります。

※高額療養費制度とは：

医療機関や薬局の窓口で支払った額が月の初めから終わりまでで一定額を超えた場合に、その超えた金額を支給する制度。負担の上限額は年齢や所得によって異なります。入院する場合に窓口での支払いを負担の上限額までに抑えるには手続きが必要です。詳しくはご加入の医療保険か、病院の医療相談室にお問い合わせください。

内野株式会社よりタオル帽子寄贈

今年も 6 月に全国のがん診療連携拠点病院へタオル帽子を発送する予定で準備を進めておりますが、このほど内野株式会社様より発送用のタオル帽子 500 個が当会に寄贈されました。

抗がん剤の副作用による脱毛に悩む患者さんが少しでも笑顔になるように一と毎年当会にお送りいただいております。深く御礼申し上げます。



内野株式会社様より贈られたタオル帽子

岩手ホスピスの会 ホスピスセミナー

①岩手医科大学附属病院緩和ケアセンターについて、②設置準備中の岩手医科大学附属病院緩和ケア病棟の最新情報と、同病棟が地域と県全体に果たす役割について、等お話しいただき、患者家族の側からも、岩手の緩和ケア医療について考えます。



木村 祐輔 先生

日 時：5月7日(土)

講 演：13：30～14：30

質疑応答：14：30～15：00

場 所：盛岡市総合福祉センター

(若園町 2-2 Tel：019-651-1000)

**講 師：岩手医科大学附属病院緩和医療学科教授
木村 祐輔 先生**

**テ ー マ：「岩手医科大学附属病院の
緩和ケアセンターと
緩和ケア病棟について」**



参 加 費：無料

会場には駐車できません。お車をご利用の方は近くの有料駐車場をご利用ください。
当日は参加者との意見交換会も開催いたします。
私たちのがん医療についてみんなで考えましょう。

問い合わせ：岩手ホスピスの会 Tel 090-2604-7918

Fax 019-653-6447 e-mail hospice@eins.rnac.ne.jp

高田に輝(ひかり)の花を咲かせよう

あの東日本大震災から5年。私たちホスピスの会が震災後何度もお伺いした陸前高田の街も復興に向けて少しずつ確実に前に進んでいます。

3月11日と12日、陸前高田市高田町川原地区で東日本大震災復興祈願イベント「高田に輝(ひかり)の花を咲かせよう」が開催され、当会からも参加しました。

会場にはボランティアの人たちが作った無数のイルミネーションが灯り、震災で亡くなった尊い沢山の命を追悼していました。

その中でもひととき大きく光輝いていた「輝」の文字。

「輝(ひかり)」は、大震災で命を落とした一人、陸前高田の消防団員だった当時25歳の菊池勇輝さんの「輝(ひかり)」です。

菊池勇輝さんの祖母、菊池仲子さんと「高田に輝の花を咲かせよう」イベント会場で久しぶりにお会いしました。

仲子さんは私たちに、「いつも茹で卵や豚汁等持ってきてくれてありがとね!」と声をかけてくれました。

仲子さんの旦那様にも何度もお会いしましたが、震災の2年後に肺がんで亡くなりました。

被災地を訪ねる度に、人の命は有限であることを改めて思い知らされます。

若くして亡くなった勇輝さんの冥福を祈り、被災地で出会った全ての人たちの幸せを願いました。



菊池仲子さん(左)



輝(ひかり)のイルミネーションと菊池勇輝さんの母、裕子さん(右)

被災地支援草刈 ボランティア募集

6月25日(土)、東日本大震災被災地支援活動として、陸前高田市仮設住宅周辺において生い茂った雑草の草刈りボランティアを行います。昨年も開催し、仮設住宅の方から大変助かったとお礼の言葉を頂きました。今年も皆で取り組みたいと思います。参加希望の方、奮ってお申し込みをお願い致します。

連絡先：岩手ホスピスの会 090-2604-7918



昨年行われた草刈りボランティア(陸前高田市上壺仮設住宅)

都道府県がん対策カルテ 2015

各都道府県別にがん対策の実情を把握・比較することで各県のがん対策推進に役立てることを目的に、2015年11月に特定非営利活動法人がん政策サミットが全国各県庁担当部署に依頼して行ったアンケート調査の回答がこのほどまとまりましたのでご紹介します。

スペースが限られるため、東北6県の回答のみをご紹介します。全県の回答はインターネットで以下のページをご覧ください。

http://cpsum.org/pdf/Pref_Karte_2015b.pdf

なお、岩手県と山形県は今回のアンケートへの回答がなかったため、どちらも2013年に行われた同様のアンケート調査での回答を掲載させていただきました。



第17回岩手県がん対策推進協議会（2015.5.28）

- A 県庁にがん対策の専門部署はありますか。*県ページ参照
 B がん対策はひとつの部署で担当していますか、複数の部署ですか。
 C がん対策は何人の職員でご担当されていますか。
 専従の方は1、兼任の方は担当職務数割で0.5、0.3などとカウントして下さい。
 D 県議会にがん対策に関する超党派・超会派の議連がありますか。
 E がん対策推進協議会（およびそれに該当する会議）とは別に、
 がん対策の進捗管理（PDCA サイクル）や評価のための会議体がありますか。
 F 圏域などの単位でがん医療や在宅医療を協議する会議体がありますか。
 G がん対策推進協議会等（部会含まず）の開催予定回数（平成27年度）
 H がん対策推進協議会等（本協議会）の全委員の数
 I がん対策推進協議会等（本協議会）の患者・住民立場の委員の数
 J がん対策推進協議会等部会の患者・住民立場の委員ののべ数
 K がん診療連携協議会（部会含まず）の開催予定回数（平成27年度）
 L がん診療連携協議会（本連携協議会）の全委員の数
 M がん診療連携協議会（本連携協議会）の患者・住民立場の委員の数
 N がん診療連携協議会部会の患者・住民立場の委員ののべ数
 O がん対策推進条例は制定されていますか。
 P がん対策推進条例の改正はありましたか。
 Q 第2次がん対策推進計画の中間評価を行いましたか。
 R 第2次がん対策推進計画の最終評価を行いますか。
 S 平成26-27年度内に、県による患者満足度調査を行いますか。
 T 平成26-27年度内に、県による医療者意識調査を行いますか。
 U 平成26-27年度内に、県独自の調査を行いますか。
 V がん対策に関する専用のウェブサイト（コーナー）はありますか。
 W がん対策予算に関して、ウェブサイトなどで住民に情報公開していますか。
 X がん対策推進協議会の資料と議事録をウェブサイトなどで公開していますか。
 Y がん対策に関する年次報告書的な資料を作成し、公開していますか。

	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島
A	○		○	○		○
B	一つ		一つ	一つ		複数
C	4		3	7		3.5
D	×		×	○		×
E	○		×	×	○	×
F	×		×	○	○	○
G	2	1	2	1~2	0	1
H	18	20	19	16	0	13
I	2	4	2	2	0	1
J	無答	0	0	無答	0	0
K	2	2	1	2	1	2
L	22	24	22	20	11	22
M	0	0	0	0	0	2
N	0	0	0	0	0	0
O	×	○	×	○		○
P	無答		無答	○		×
Q	△	○	×	×		×
R	○		○	○		○
S	×		×	×		×
T	×		×	×		×
U	×		○	○		×
V	○		○	×	○	○
W	×	○	×	○		×
X	○	○	○	○		×
Y	○		×	○	○	×

特定非営利活動法人がん政策サミット：〒155-0032 東京都世田谷区代沢 5-34-14 片桐ハイツ 101 号室
 TEL：080-3257-2354 FAX：03-6453-4368